

# 第41回 ニューロ・オンコロジーの会

研究会会長 東京女子医科大学 脳神経外科  
村垣 善浩

- 主 題 1) 診断・治療に苦慮した症例、珍しい症例など  
2) 遺伝子診断時代の神経膠腫 grade2/3 に対する治療戦略

日 時 : 平成23年8月7日(日) 10:00~15:30

場 所 : 東京女子医科大学・早稲田大学連携先端生命医科学研究教育施設 (TWIns)

住 所 : 東京都新宿区若松町2-2

当日連絡先 : 東京女子医科大学 03-3353-8111 (代表)

## プログラム

I 診断・治療に苦慮した症例・珍しい症例など (発表8分、討論4分) 10:00~11:00

座 長 東京女子医科大学 脳神経外科 田中雅彦

1) 下垂体腺腫に対する放射線治療後に発生したトルコ鞍底部の骨肉腫

帝京大学ちば総合医療センター脳神経外科

山田昌興、山田 創、中口 博、村上峰子、保谷克巳、石井雄道、松野 彰

2) 中枢神経原発悪性リンパ腫とその周辺

北里大学医学部脳神経外科

萩原宏之、岡 秀宏、宇津木聡、宮島良輝、木島千尋、藤井清孝

3) 診断に苦慮した松果体部腫瘍の2例

福井大学 医学部 脳脊髄神経外科

竹内浩明、北井隆平、山内貴寛、根石拓行、常俊顕三、小寺俊昭、有島英孝、菊田健一郎

4) 当施設で経験した Gliomatosis cerebri の一例

昭和大学藤が丘病院 脳神経センター 脳神経外科<sup>1)</sup>、昭和大学藤が丘病院 脳神経センター 脳神経内科<sup>2)</sup>、

昭和大学藤が丘病院 放射線科<sup>3)</sup>、昭和大学藤が丘病院 病理診断科<sup>4)</sup>、

中條敬人<sup>1)</sup>、泉山 仁<sup>1)</sup>、今泉陽一<sup>1)</sup>、河面倫有<sup>1)</sup>、中嶋浩二<sup>1)</sup>、村上秀友<sup>2)</sup>、石垣征一郎<sup>2)</sup>、林 高樹<sup>3)</sup>、

楯 玄秀<sup>4)</sup>

5) 膠芽腫の早期診断は可能か？

順天堂大学医学部附属練馬病院 脳神経外科<sup>1)</sup>、順天堂大学医学部附属順天堂医院 脳神経外科<sup>2)</sup>

菱井誠人<sup>1)</sup>、丹下祐一<sup>1)</sup>、宮嶋雅一<sup>2)</sup>、新井 一<sup>2)</sup>

II 特別講演 11:00~12:40

座 長 東京女子医科大学 脳神経外科 岡田芳和

### 『 癌幹細胞の性質を規定する分子メカニズムと治療戦略』

慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所遺伝子制御部門 教授 佐谷 秀行 先生

<休 憩>

### 『 がん臨床研究のデザインと解析における pitfalls』

国立がん研究センター がん対策情報センター 臨床試験支援部

JCOG データセンター データセンター長 福田 治彦 先生

Ⅲ 遺伝子診断時代の神経膠腫 grade2/3 に対する治療戦略 (発表 10分 討論 3分) 12:40~14:30

座長 東京女子医科大学 脳神経外科 丸山隆志

- 1) high grade glioma において手術摘出度が予後に与える影響  
北海道大学 脳神経外科  
山口 秀、小林 浩之、寺坂 俊介、宝金 清博
- 2) 【指定発言】 WHO 分類における grade2/3 病理診断の要点と課題  
東京都医学総合研究所 脳腫瘍病理研究室 小森隆司
- 3) グレード3 神経膠腫の新しい疾患概念 2 例報告  
広島大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経外科<sup>1)</sup>、徳島県立中央病院病理診断科<sup>2)</sup>  
杉山一彦<sup>1)</sup>、山崎文之<sup>1)</sup>、梶原佳則<sup>1)</sup>、渡邊陽祐<sup>1)</sup>、高安武志<sup>1)</sup>、栗栖 薫<sup>1)</sup>、廣瀬隆則<sup>2)</sup>
- 4) 【指定発言】 治療戦略立案のために有用な 神経膠腫 grade 2/3 の遺伝子診断  
東京大学 脳神経外科 武笠晃丈
- 5) IDH1 R132H 抗体による Low grade glioma と reactive gliosis の鑑別と proton MRS による 2-hydroxyglutarate 検出の試み  
防衛医科大学校 脳神経外科<sup>1)</sup>、防衛医科大学校 病態病理学<sup>2)</sup>、防衛医科大学校病院 臨床検査部病理<sup>3)</sup>、  
防衛医科大学校 放射線医学講座<sup>4)</sup>、防衛医科大学校病院 放射線部<sup>5)</sup>  
苗代 弘<sup>1)</sup>、南村鎌三<sup>1)</sup>、竹内 誠<sup>1)</sup>、長田秀夫<sup>1)</sup>、大谷直樹<sup>1)</sup>、鈴木隆元<sup>1)</sup>、岩屋啓一<sup>2)</sup>、島崎英幸<sup>3)</sup>、  
松原 修<sup>2)</sup>、島 克司<sup>1)</sup>、中井完治<sup>4)</sup>、新本 弘<sup>4)</sup>、吉原信幸<sup>5)</sup>、加地辰美<sup>5)</sup>
- 6) 1p/19q LOH 解析、MGMT 発現、IDH1 変異にもとづいたグリオーマ grade III の治療戦略  
筑波大学脳神経外科  
高野晋吾、山本哲哉、石川栄一、中井 啓、津田恭治、坂本規影、坪井康次、松村 明
- 7) グリオーマ Grade 2/3 に対する治療戦略 - 遺伝子予後因子での治療変更は必要か? -  
東京女子医科大学 脳神経外科<sup>1)</sup>、東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 先端工学外科<sup>2)</sup>  
丸山隆志<sup>1) 2)</sup>、村垣善浩<sup>1) 2)</sup>、齋藤太一<sup>1)</sup>、新田雅之<sup>1) 2)</sup>、伊関 洋<sup>1) 2)</sup>、田村 学<sup>1) 2)</sup>、生田聡子<sup>2)</sup>、  
田中雅彦<sup>1) 2)</sup>、岡田芳和<sup>1)</sup>
- 8) anaplastic ependymoma の長期治療経過について  
東邦大学医学部脳神経外科学第一講座 (大森)<sup>1)</sup>、東邦大学医学部脳神経外科学第一講座 (佐倉)<sup>2)</sup>  
野本 淳<sup>1)</sup>、原田雅史<sup>1)</sup>、福島大輔<sup>1)</sup>、植草啓之<sup>1)</sup>、北島 悟<sup>1)</sup>、近藤康介<sup>1)</sup>、原田直幸<sup>1)</sup>、根本匡章<sup>1)</sup>、  
梶田博之<sup>2)</sup>、羽賀大輔<sup>2)</sup>、宮崎親男<sup>2)</sup>、黒木貴夫<sup>2)</sup>、長尾建樹<sup>2)</sup>、周郷延雄<sup>1)</sup>

Ⅳ 総合討論

14:40~15:30

司会 東京女子医科大学 先端生命医科学研究所 伊関 洋 村垣善浩



- \*参加費として、受付で2,000円頂きます
- \*ご参加の先生方は、日本脳神経外科専門医クレジット (3点) を取得できます
- \*本会におきましては、規則により弊社による旅費の負担ができませんことをご了承下さい。
- \*本会終了後、意見交換会をご予定しております。
- \*当日は、(スーパー) クールビズでご参加ください。

共催 : ニューロ・オンコロジーの会  
MSD株式会社

都営地下鉄大江戸線 若松河田駅下車、徒歩5分  
牛込柳町駅下車、徒歩5分